

2 - 1 東北地方とその周辺の地震活動（1995年11月～1996年4月）

Recent Seismic Activity in and around the Tohoku District (November,1995-April,1996)

仙台管区气象台

Sendai District Meteorological Observatory, JMA

1995年11月～1996年1月,1996年2月～4月の各3ヶ月間の震央分布図を第1図(a)と第1図(b)に示す。

この期間,東北地方とその周辺で発生した有感地震は86回観測した。このうち主な地震活動を以下に挙げる。

1995年11月～1996年1月,この期間の地震活動では,12月30日21時11分に発生した三陸はるか沖地震(M6.3)により,青森・市浦・むつ・八戸・盛岡で最大震度2を観測した。この地震は,平成6年12月28日の三陸はるか沖地震(M7.5)の東側余震域(海溝寄り)の北端部で発生した。

12月22日14時52分に発生した山形県村山地方の地震(M4.3,深さ11km)により,山形・白鷹で最大震度3を観測した。

1996年2月～4月,この期間の地震活動では,2月17日00時22分に発生した福島県沖地震(M6.6,深さ51km)により,北海道から近畿地方の広い範囲で有感となり,福島・仙台・石巻・大船渡・白河・水戸・盛岡等で最大震度4を観測した。この地震により,仙台管区气象台は00時28分に東北地方の太平洋沿岸に津波注意報を発表した。第2図のE-F断面図に示されるように,プレート境界面よりかなり深いところでこの地震は発生したためか,津波は観測されなかった。この地震の断層面が,余震分布からは発震機構解に示されているような高角または低角の断層面のどちらかは不明である。

4月5日17時36分頃から宮城県北部(栗駒町付近)を震源とする地震が頻発し,4月10日頃まで活発であった。この期間のMの最大は,7日03時34分及び9日09時37分の地震で,どちらも3.8であった。

4月23日13時08分に発生した岩手県沿岸南部の地震(M5.0,深さ74km)では,東北地方から関東地方の一部にかけて有感となり,宮古・大船渡・盛岡・仙台・石巻等で最大震度3を観測した。この地震は,沈み込む太平洋プレート内(2重進発面の上面)で発生した。

(1) 三陸はるか沖の地震活動(1995年11月1日～1996年4月30日)

平成6年(1994年)12月28日の三陸はるか沖地震(M7.5)の余震活動は,順調に減少していたが,11月23日にM5.3の地震が発生してから余震活動が再び活発となり12月30日には,この期間の余震活動では最も大きいM6.3の地震が発生した。この地震により,北海道の東部から南部と東北地方北部にかけての広い範囲で有感となり,青森・市浦・盛岡・むつ・八戸で最大震度2を観測した。このM6.3の地震は,平成6年12月28日の本震(7.5)の東側余震域(海溝寄り)の北端部で発生した。また,M6クラスの地震は,1995年2月23日以来のものである。

1995年11月1日から1996年4月30日までの三陸はるか沖の地震活動(M 3.0, h 100km)の震央分布図・M-T図・時空間分布図・回数積算図を第3図に示す。

(2) 山形県村山地方の地震活動(1995年12月15日~12月31日)

1995年12月22日14時52分に山形県村山地方でM4.3(深さ11km)の地震が発生した。この地震により、山形・山形白鷹で最大震度3を観測した。震源地付近の山形市の蔵王温泉ホテルでは、窓ガラス等が割れる小被害が発生した。その後の地震活動は短期間で終わった。

第4図に、1995年12月15日~12月31日までの山形県村山地方の地震活動を示す。

(3) 宮城県北部の地震活動(1995年11月1日~1996年4月30日)

1996年4月5日17時36分頃から宮城県北部(栗駒町付近)を震源とする地震が頻発し、4月10日頃まで活動が活発であった。この間に震源の決まった回数は約100回をこえた。また、Mの最大は3.8で7日と9日の2回発生している。仙台管区気象台は、4月12日に栗駒町岩ヶ崎地区と栗駒町沼倉地区に計測震度計及び地震計を設置し、地震活動監視に入った。4月20日のM3.3では栗駒町沼倉で震度3を、4月25日のM3.4では、栗駒町沼倉で震度2、栗駒町岩ヶ崎で震度1をそれぞれ観測した。

昨年1月13日頃、宮城県石越町付近(Aの領域)を震源とする地震が頻発し、12月上旬頃まで活動が続いた。この期間のMの最大は3.8(11/13)であった。その後、12月中旬頃から、栗駒山の東北東約100km付近の岩手県側(Bの領域)で小活動があった。このBの領域でのMの最大は3.6(1/8)で、一関で震度1を観測した。この付近の活動は、1月いっぱい終わった。第5図に、1995年11月1日~1996年4月30日までの宮城県北部の地震活動を示す。

(4) 1996年4月23日岩手県沿岸南部の地震(M5.0, h=74km)

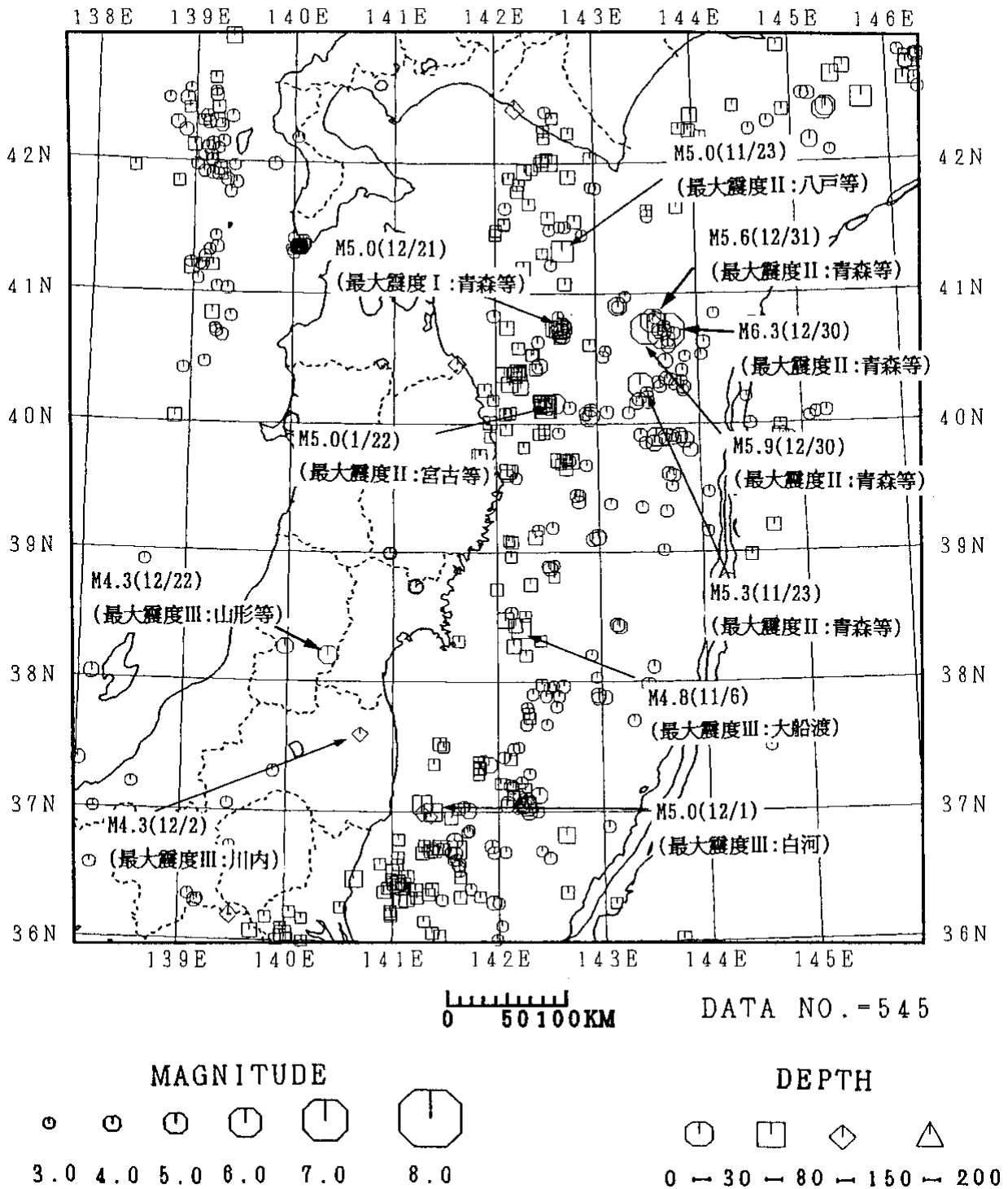
4月23日13時08分、岩手県沿岸南部の地震(M5.0, 深さ74km)により、東北地方から関東地方の一部にかけての広い範囲で有感となり、宮古・大船渡・大船渡猪川・盛岡・石巻・仙台・栗駒町岩ヶ崎・栗駒町沼倉で最大震度3を観測した。

この地震は、沈み込む太平洋プレート内(2重深発面の上面)で発生した。また、この地震の発震機構(メカニズム解)では、圧縮軸は太平洋プレートの沈み込み方向に近いほぼ東西方向に向いている。

第6図に岩手県沿岸南部の地震活動を示す。

[震央分布図] 1995年11月1日~1996年1月31日 (M \geq 3.0, h \leq 200km)

(a)

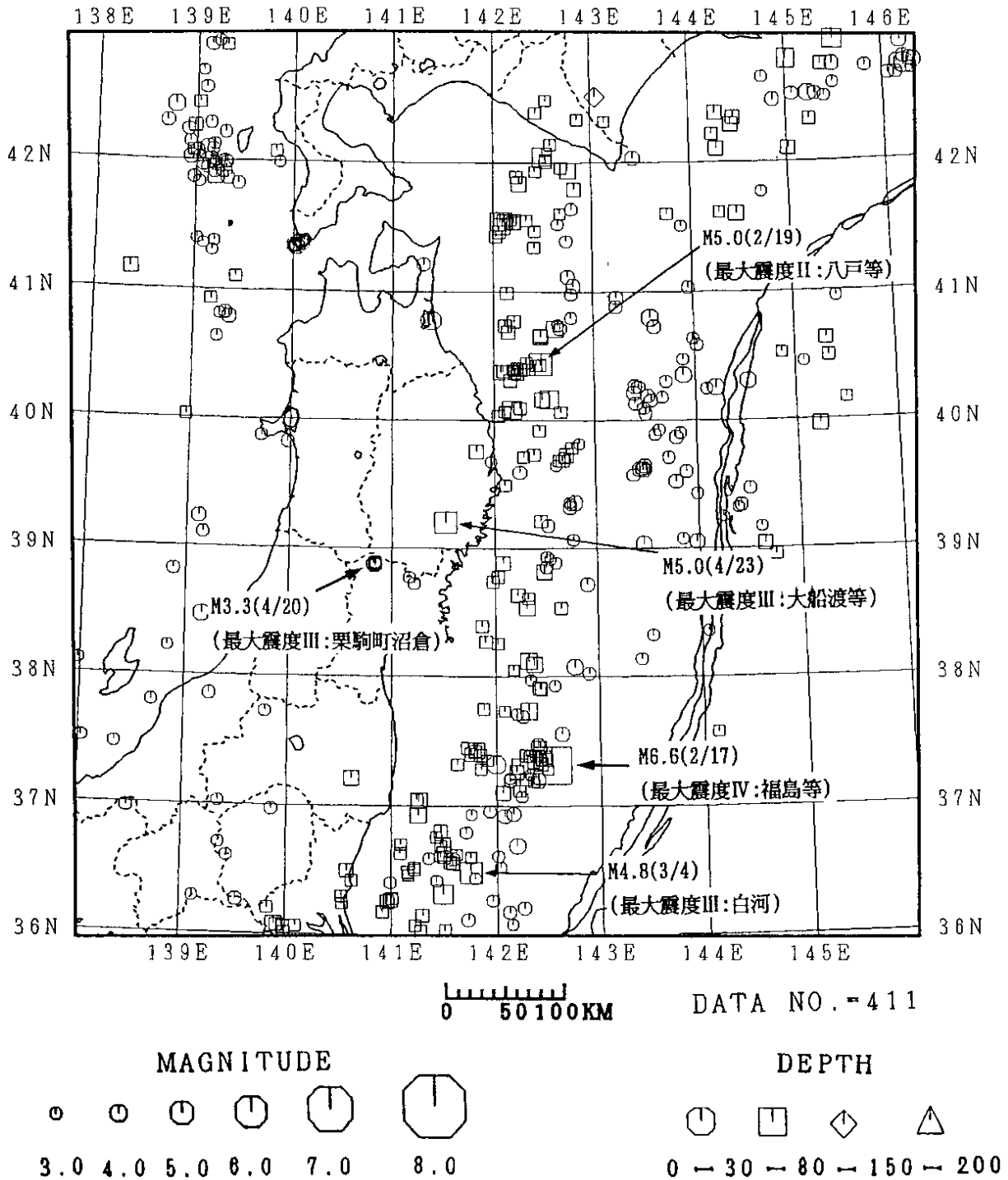


(注) 図中のマークは管内で最大震度III以上及びM5以上の主な地震を示す。

第1図 東北地方とその周辺で発生した地震の震央分布図。(a)1995年11月~1996年1月(M \geq 3.0, h \leq 200km)

Fig.1 Epicentral distribution of earthquakes in and around Tohoku District . (a)November,1995 to January, 1996 (M \geq 3.0,h \leq 200km)

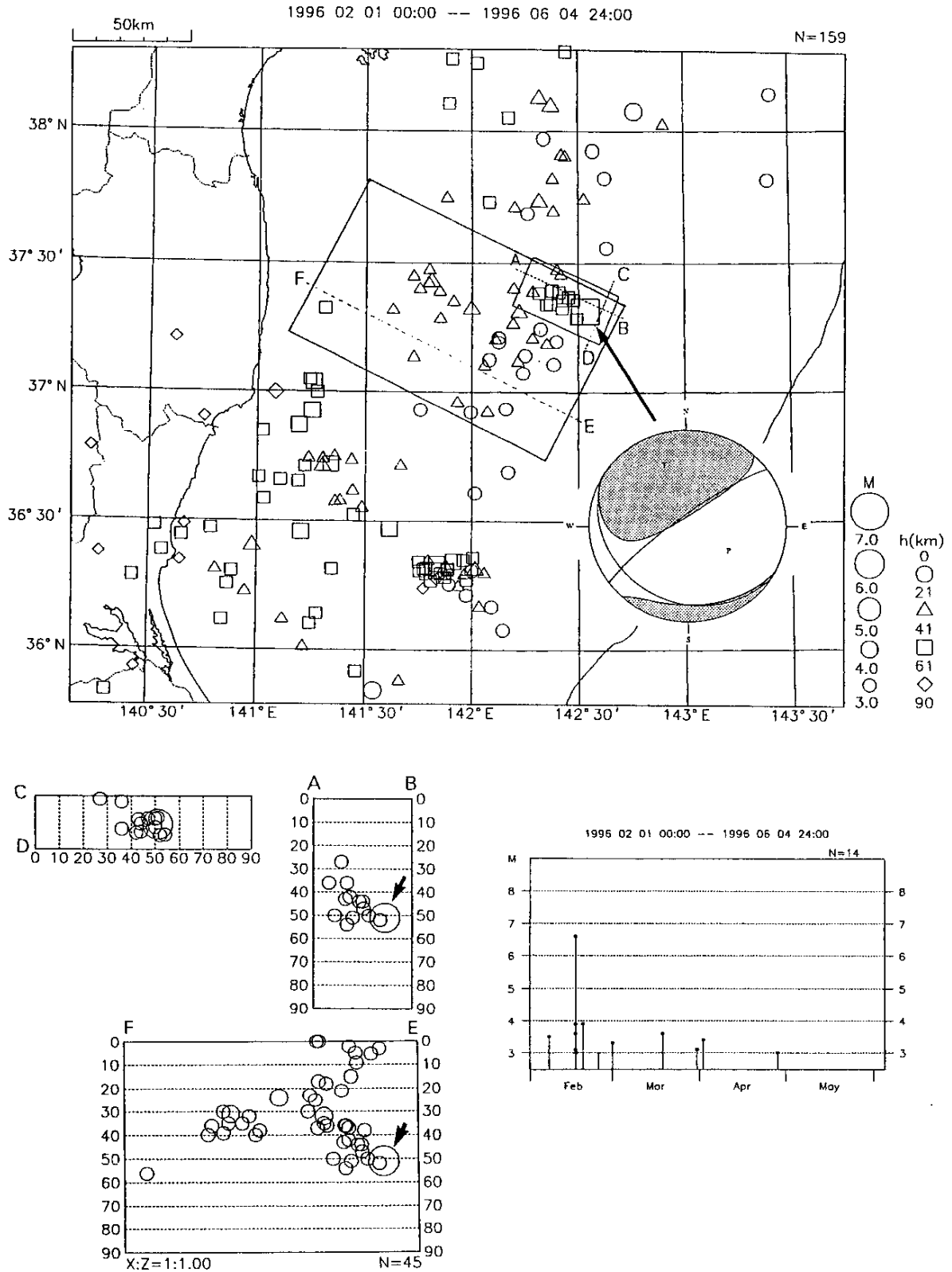
(b)



(注) 図中のマークは管内で最大震度III以上及びM5以上の主な地震を示す。

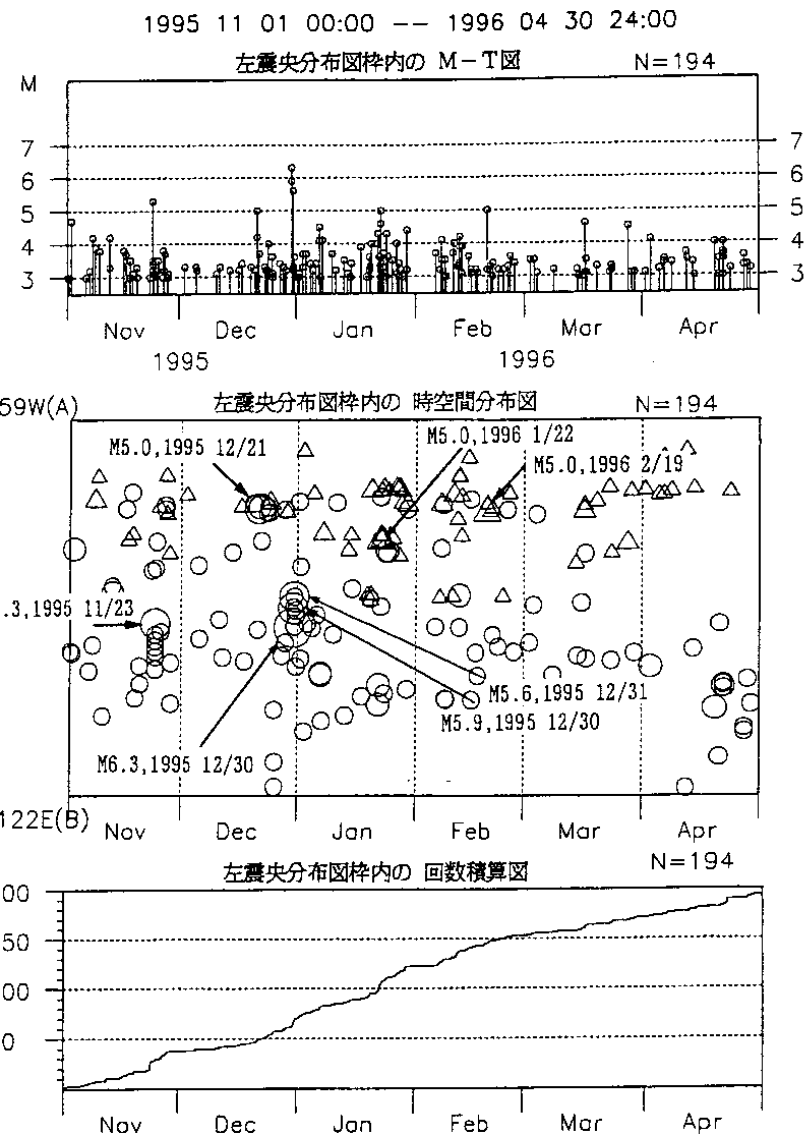
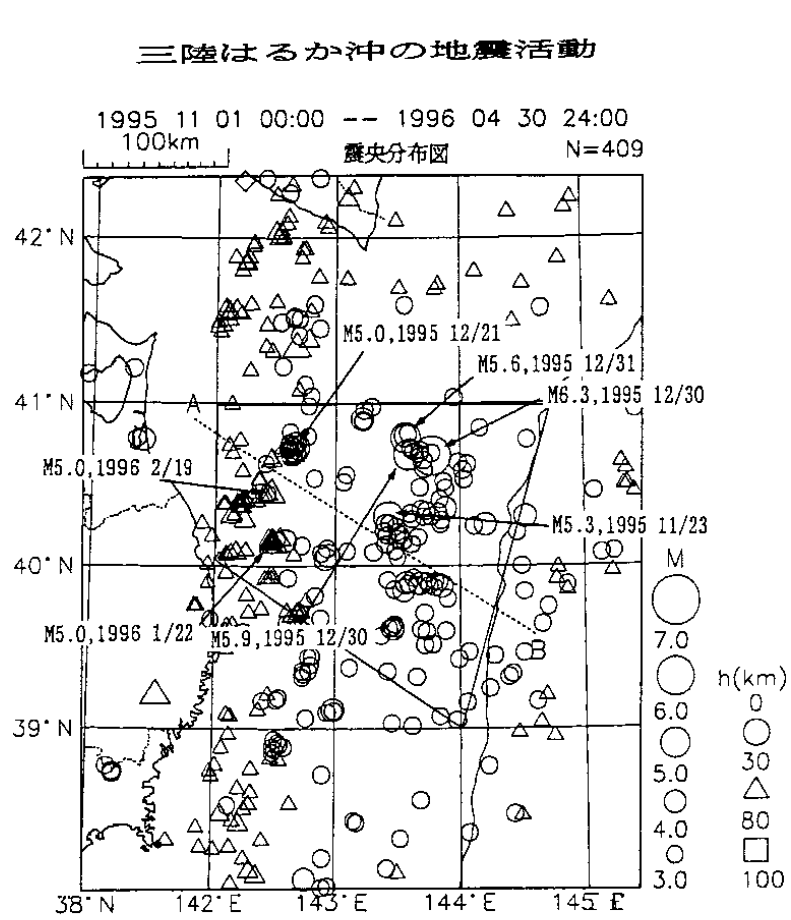
第1図 つづき (b) 1996年2月~4月 (M 3.0, h 200km)

Fig.1 (Continued) (b) February to April, 1996 (M 3.0, h 200km).



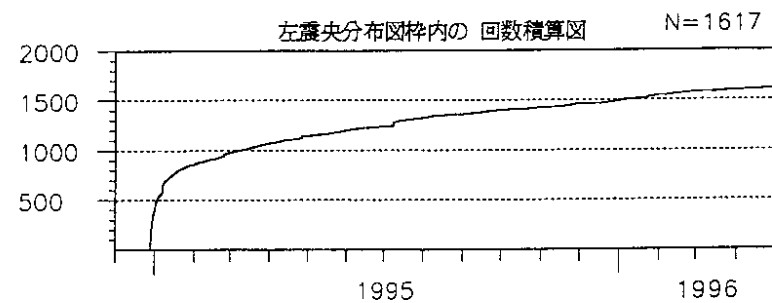
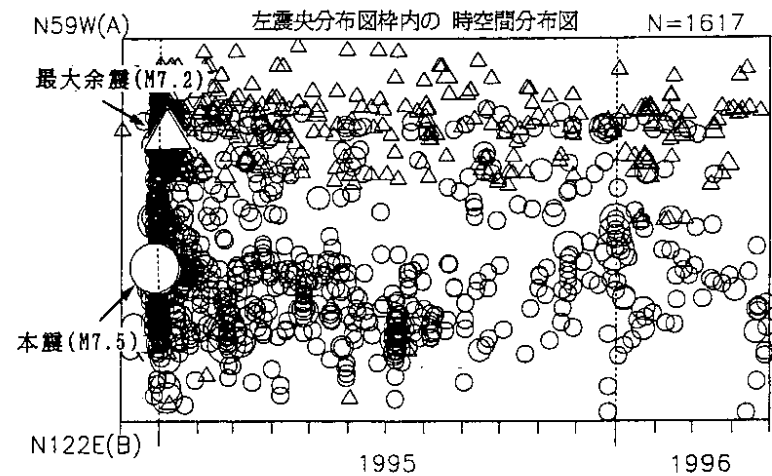
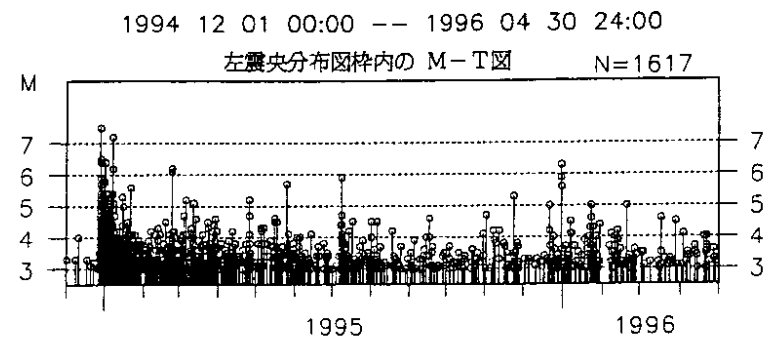
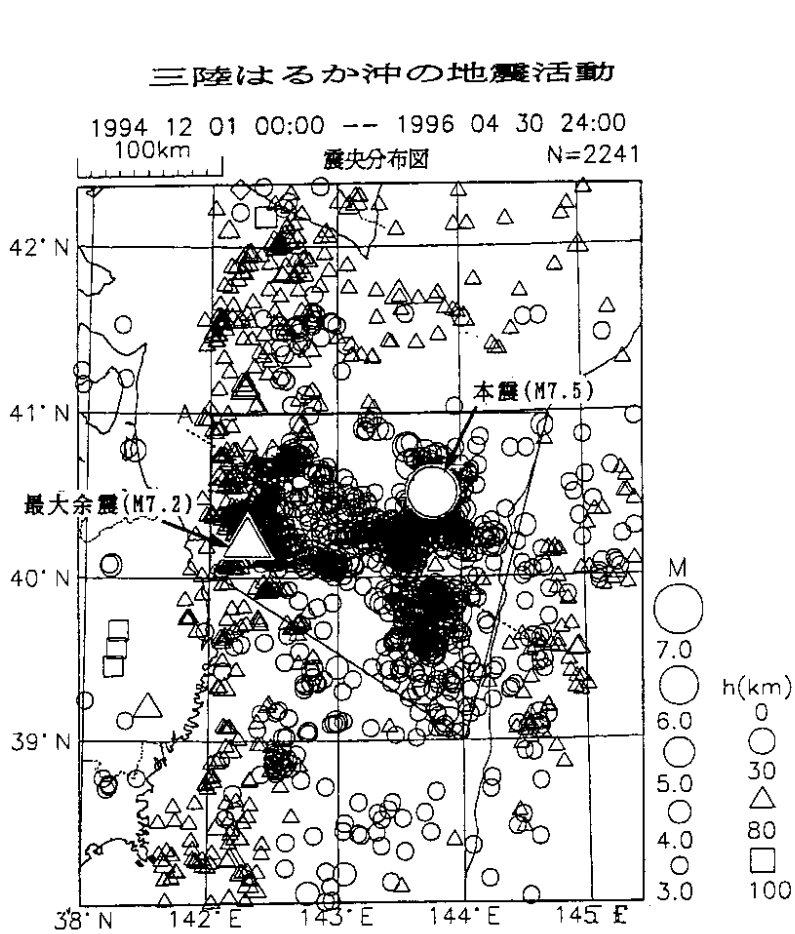
第2図 福島県沖の地震(2月17日, M6.6)(気象庁地震予知情報課による)

Fig.2 An earthquake (February 17, M6.6) off Fukushima Prefecture (By Earthquake Prediction Information Division, JMA).



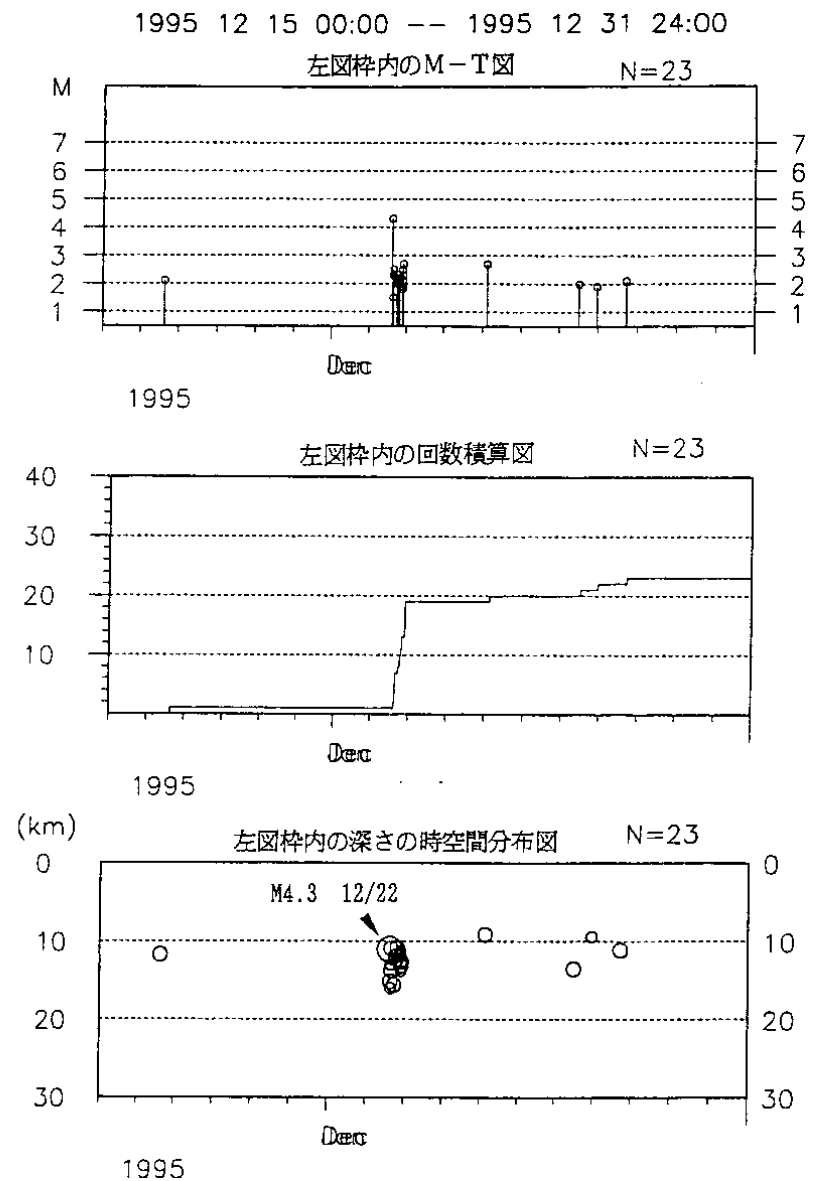
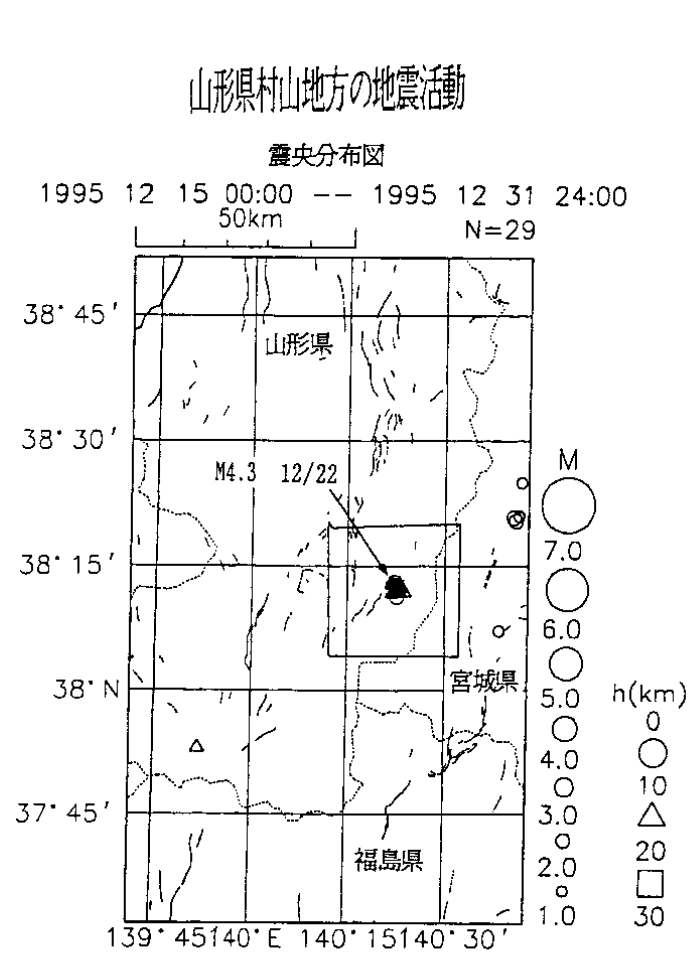
第3図 三陸はるか沖の地震活動 (1995年11月1日~1996年4月30日)

Fig.3 Seismic Activity in the Far Off Sanriku (November 1,1995 to April 30,1996) .



第4図 山形県村山地方の地震活動 (1995年12月15日~12月31日)

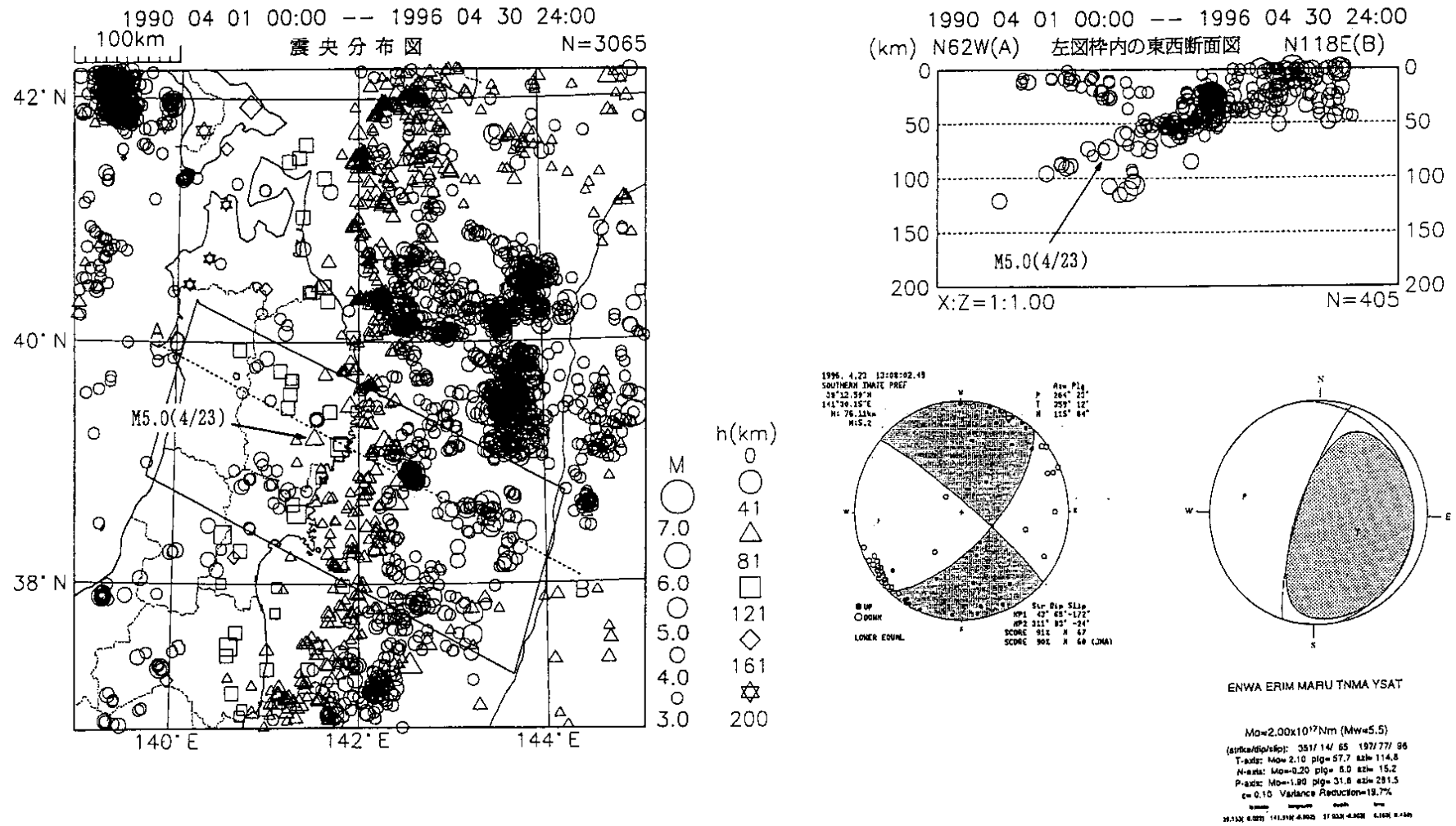
Fig.4 Seismic Activity in the Murayama region of Yamagata Prefecture (December 15 to 31,1995) .



第5図 宮城県北部の地震活動 (1995年11月1日~1996年4月30日)

Fig.5 Seismic Activity in the Northern Miyagi Prefecture (November 1,1995 to April 30,1996) .

1996年4月23日岩手県南部沿岸の地震 (M5.0, h=74km)



第6図 1996年4月23日岩手県沿岸南部の地震 (M5.0, h = 74 km)

Fig.6 An earthquake of April 23,1996 occurred at south coast of Iwate Prefecture .